

平成29年度
事業報告書

(公財)福岡県動物愛護センター

目 次

第1 法人運営

1	評議員会の開催	1
2	理事会の開催	1
3	評議員及び役員に関する事項	2
4	組織及び職員構成	3

第2 事業の実施

1	動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業	4
2	ペット相談事業	12
3	調査研究事業	14
4	動物愛護・管理支援事業	25
5	動物愛護週間事業等	30

第1 法人運営

1 評議員会の開催

(公財)福岡県動物愛護センター(以下「センター」という)の運営事項を決定するため、次のとおり評議員会を開催した。

区分	開催年月日	場所	付議事項	結果
第1回 評議員会	平成 29. 4. 25	(書面による決議)	1 評議員1名の選任の件 2 理事2名の選任の件	原案のとおり決議
第2回 評議員会	平成 29. 6. 27	福岡市 ホテルレガロ福岡	1 平成28年度決算及び監査報告について 2 定款の変更について 3 評議員会運営規程の改正について 4 評議員及び役員の選任について	原案のとおり決議

2 理事会の開催

センターの運営事項を決定するため、次のとおり理事会を開催した。

区分	開催年月日	場所	付議事項	結果
第1回 理事会	平成 29. 4. 11	(書面による決議)	1 第1回評議員会の書面による決議の件 (決議の省略)	原案のとおり決議
第2回 理事会	平成 29. 4. 25	(書面による決議)	1 理事長選定の件 2 常務理事選定の件	原案のとおり決議
第3回 理事会	平成 29. 6. 2	福岡市 ホテルレガロ福岡	1 平成28年度事業報告について 2 平成28年度決算及び監査報告について 3 専決処分(所長の任免)について 4 平成29年度第2回評議員会の開催について	原案のとおり決議
第4回 理事会	平成 29. 6. 27	(書面による決議)	1 理事長選定の件 2 常務理事選定の件	原案のとおり決議
第5回 理事会	平成 30. 2. 19	福岡市 博多サンヒルズホテル	1 平成29年度補正収支予算について 2 平成30年度事業計画について 3 平成30年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて	原案のとおり決議

3 評議員及び役員に関する事項

(1) 評議員

平成30年3月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	摘要
評議員	大里 俊彦	平 25. 4. 1 (就任)	(一社) 日本食鳥協会九州支部事務局長
評議員	大森 徹	平 29. 4. 25 (就任)	福岡県保健医療介護部長
評議員	草場 治雄	平 25. 4. 1 (就任)	(公社) 福岡県獣医師会会長
評議員	櫻内 京子	平 25. 4. 1 (就任)	(公社) 日本愛玩動物協会福岡県支所長
評議員	松山 廣茂	平 25. 4. 1 (就任)	(元(社) 福岡県動物福祉協会監事)

(2) 理事

平成30年3月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	摘要
理事長	高田 則子	平 29. 4. 25 (就任)	福岡県保健医療介護部食の安全総合調整監 兼生活衛生課長
常務理事	田村 聡	平 29. 4. 25 (就任)	(公財) 福岡県動物愛護センター所長
理事	小野 教子	平 25. 4. 1 (就任)	フリーライター 元ドッグマンス実行委員会代表
理事	小山 幸江	平 27. 6. 16 (就任)	元当センター業務課長 当センターボランティア
理事	山根 明弘	平 29. 6. 27 (就任)	西南学院大学准教授
理事	船津 敏弘	平 25. 4. 1 (就任)	(公社) 福岡県獣医師会理事
理事	横田 昌宏	平 27. 5. 13 (就任)	古賀市副市長

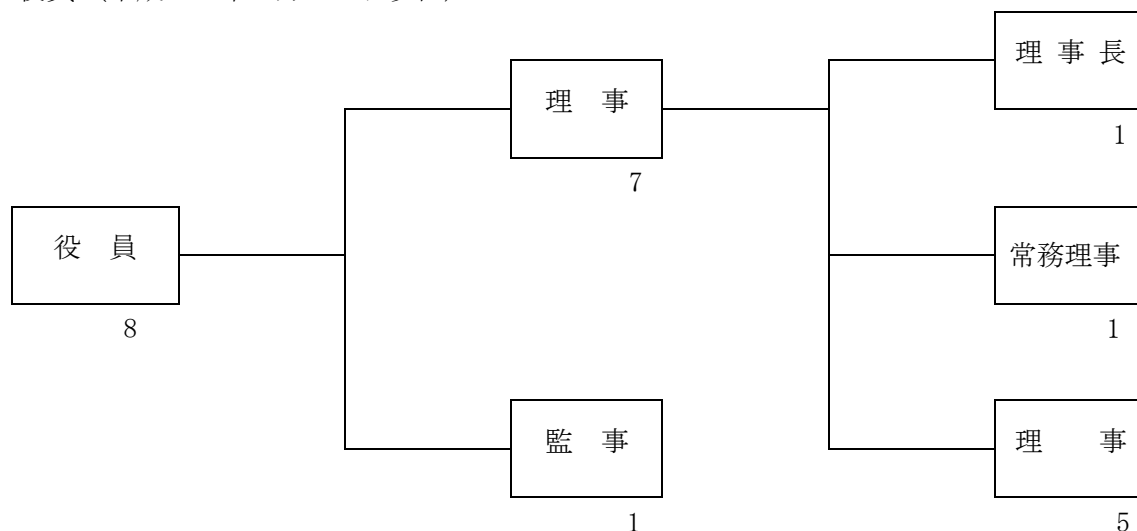
(3) 監事

平成30年3月31日現在

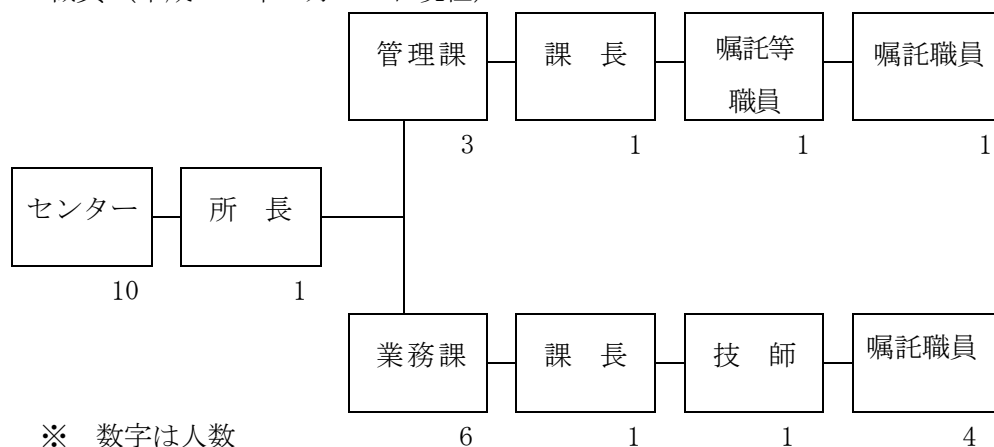
役職名	氏名	就任年月日	摘要
監事	山本 裕三	平 25. 4. 1 (就任)	山本裕三税理士事務所代表

4 組織及び職員構成

(1) 役員 (平成30年3月31日現在)



(2) 職員 (平成30年3月31日現在)



※ 数字は人数

(3) 職員定数及び現員

平成30年3月31日現在

職 種	配置内訳 (定数)				現 員	過不足	備 考
	所長	管理課	業務課	合計			
所 長	1			1	1		
管理課長		1		1	1		
事務主査		1		1	0	-1	
嘱託等職員(事務・専門職)					1	1	
嘱託職員(事務補助)		1		1	1		
業務課長			1	1	1		
技術主査(獣医師)			2	2	0	-2	
嘱託職員(獣医師)					1	1	
技 師		1	3	4	1	-3	
嘱託職員(技師)					2	2	
嘱託職員(動物愛護担当)					1	1	
合 計	1	4		11	10	-1	

第2 事業の実施

1 動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業

(1) 県内の動物関係専門学校生等への研修

ア 動物関係専門学校生研修及び実習

動物関係の専門学校の学生に関しては、センター業務、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、動物由来感染症、犬のしつけ及び動物福祉等に関する研修及び実習を行い、同時に、将来動物関係の仕事に携わる中で、飼い主等に対する啓発をお願いした。

期 間	内容及び参加者	
6月29日(木)	研修	福岡ECO動物海洋専門学校 動物園・動物飼育専攻 45名
7月6日(木)	研修	福岡ECO動物海洋専門学校 動物園・動物飼育専攻 39名
12月5日(火)	研修	専門学校九州スクールオブビジネス ペット学科 54名
3月12日(月) ～ 3月16日(金) 3月18日(日) 計6日間	実習	専門学校福岡ビジョナリーアーツ ペット学科 1名

イ 動物愛護推進員、行政担当者及び中学生等への研修及び実習

センター業務、動物関係法令、犬や猫の健康管理法及び犬のしつけ方等に関する研修及び実習を行った。

(ア) 中学生実習

期 間	内容及び参加者
9月11日(月)～15日(金) 5日間	職場体験学習「ドリームステージ」 古賀市立古賀東中学校生徒 4名

(イ) その他

日 時	内容及び参加者
6月5日(月)	視察 動物愛護推進員等 3名
8月10日(木)	視察 熊本県庁 2名
8月23日(水)	視察 福津市役所郷育推進課 27名
11月15日(水)	視察 県南都市環境保全連絡協議会 9名
12月6日(水)	視察 福岡市東部動物愛護管理センター 4名

(2) 施設見学者への啓発

ア 施設見学の受入れ

一般の施設見学者に対して、センターの事業概要の説明、及び動物愛護に関する啓発を行った。

(ア) 受入状況

単位：名

講習会 見学者	動物 愛護団体	小中学生	専門学校 高校生	行政関係 愛護推進 員	一般来場者	合計
7	10	2	138	31	544	732
(15)	(4)	(6)	(129)	(19)	(519)	(692)

※ () は28年度の実績、以下同様

イ センターオープンデーの開催

(ア) 開催状況

月日 (曜日)	参加団体数	一般来場数	参加犬猫数	(登録)ボラン ティア数
5月21日 (日)	10団体	179名	53頭	10名
(5月15日 (日))	(8団体)	(161名)	(60頭)	(9名)

(イ) 場所 福岡県動物愛護センター

(ウ) 時間 10:00～15:00

(エ) 内容 「譲渡の輪を広げてゆく」をテーマに講演会、センター譲渡犬の里帰り会等を行った。

ウ テレビ、広報等による啓発

(ア) センターオープンデー開催予定記事掲載

a 毎日新聞 (5月6日朝刊)

b センターホームページ

(イ)生活情報誌 (古賀市新宮町) の取材

「情報誌おるね」(10月号) 記事掲載

(ウ) コリネバクテリウム感染症対策に係る取材

FBS放送 (1月31日) (犬猫との接し方、手洗いの徹底等)

(3) 犬のしつけ方教室

犬の適正飼養や犬とのより良い関係づくりを啓発し、模範的な飼育者及び模範犬の育成を図ることを目的として、犬の習性、行動や心理に関する情報を提供しながらしつけ方の指導を行う「犬のしつけ方教室(一般コース、子犬コース)」を実施した。

また、子犬コースに参加し、全レッスンを終了した飼い主と犬を対象としたフォローアップ講習会「ワンパク同窓会」を開催した。

ア (公財) 福岡県動物愛護センター主催

(ア)一般コース

a 開催状況

月日 (曜日)	受講者数	(登録) ボランティア	モデル犬
4月16日 (日)	9名	5名	3頭
6月18日 (日)	14名	3名	3頭
7月16日 (日)	11名	9名	3頭
8月20日 (日)	17名	6名	4頭
10月15日 (日)	16名	3名	3頭
11月19日 (日)	9名	3名	4頭
12月17日 (日)	20名	5名	4頭
1月21日 (日)	5名	11名	3頭
2月18日 (日)	11名	7名	3頭
3月18日 (日)	7名	8名	3頭
計	119名 (85名)	60名 (35名)	33頭 (29頭)

b 場所 福岡県動物愛護センター (大会議室)

c 時間 日曜日：13:00～15:30

d 対象 一般県民

e 内容

(a) 講義 センターの業務、しつけの必要性、犬の習性と性質、犬の社会化、不妊去勢手術、しつけの基本、良い遊びと良くない遊び、犬のことば、問題行動の背景と対処方、しつけグッズの紹介等

(b) モデル犬の実演 犬と飼い主の関係づくり、オスワリ、フセ等

(イ) 子犬コース

a 開催状況

月日（曜日）	内容	受講者数	同伴犬	（登録）ボランティア
6月 8日（木）	講義	7名		3名
6月 15日（〃）	実技1	8名	5頭	8名
6月 22日（〃）	実技2	6名	4頭	6名
9月 7日（〃）	講義	4名		5名
9月 14日（〃）	実技1	3名	3頭	7名
9月 21日（〃）	実技2	3名	2頭	8名
11月 2日（〃）	講義	8名		4名
11月 9日（〃）	実技1	7名	4頭	4名
11月 16日（〃）	実技2	8名	4頭	7名
3月 8日（〃）	講義	5名		3名
3月 15日（〃）	実技1	6名	4頭	9名
3月 22日（〃）	実技2	6名	4頭	9名
合計		71名 (79名)	30頭 (36頭)	73名 (59名)

b 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）

c 時間 （講義）13:00～15:30 （実技）13:30分～15:30

d 対象 一般県民

e 内容

(a) 講義 センターの業務、犬との暮らしの基本、遺伝と環境、犬の学習方法、犬と飼い主の関係作りプログラム、犬のストレス等

(b) 実技 アイコンタクト、オスワリ、マテ、フセ、オイデ、ゲーム等

(ウ) ワンパク同窓会

a 開催状況

月日（曜日）	参加者数	同伴犬	（登録）ボランティア
4月 27日（木）	40名	29頭	10名
11月 7日（火）	38名	31頭	6名
合計	78名 (35名)	60頭 (26頭)	16名 (4名)

b 場所 福岡県動物愛護センター（駐車場及び大会議室）

c 時間 13時30分～16時00分

d 対象 犬のしつけ方教室子犬コースを修了した飼い主と愛犬

e 内容 飼い主のスキルアップ、モデル的飼い主の組織としての情報発信。
具体的には、近況報告、実技、ゲーム、ミニ講座等。

イ 保健福祉（環境）事務所または市町村主催のしつけ方教室
主催者の依頼により、次のしつけ方教室へ職員を派遣した。

(ア) 那珂川町主催

- a 開催日時 10月19日（木）13：30～15：30
- b 開催場所 那珂川町役場 別館
- c 受講者数 8組8名

(イ) 春日市主催

- a 開催日時 1月30日（火）13：30～16：00
- b 開催場所 春日市まちづくり支援センターぶどうの庭
- c 受講者数 8名、動物愛護推進員1名

(4) 猫の適正飼養に関する普及啓発

「猫と幸せに暮らすための講座」

完全室内飼育、不妊去勢手術の実施等、適正な飼養方法を広く普及啓発することを目的に実施した。

ア（公財）福岡県動物愛護センター主催

(ア) 開催状況

単位：名

月日（曜日）	7月12日（水）	9月17日（日）	11月8日（水）	合計
受講者数	3	台風接近により中止	5	8

(イ) 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）

(ロ) 時間 13：30～15：30

(ハ) 対象 一般県民（猫の同伴はなし。）

(ニ) 内容 猫をとりまく現状、猫の習性の理解、猫のニーズを満たす、猫のストレスサイン、なぜ、完全室内飼育なの？猫の病気と健康管理、猫の不妊去勢手術の必要性、完全室内飼育のためのポイント、トイレのしつけ、猫の食事、お手入れ等

(5) 動物愛護教室事業

ア（公財）福岡県動物愛護センター主催

(ア) 開催状況

単位：名

月日（曜日）	時間	大人	子ども	(登録) ボランティア
7月26日（水）	10:00～11:30	2	5	4
8月16日（水）	10:00～11:30	10	17	4

(イ) 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）

(ロ) 対象 幼稚園、小学校等の園児、児童

(ハ) 内容 動物の気持ち、動物と楽しく暮らすための約束、動物の役割等

イ 北九州市八幡図書館主催

- (ア) 開催状況 8月22日(火) 14:00～14:45
- (イ) 場所 北九州市立八幡図書館 2階セミナー室
- (ウ) 対象 幼稚園、小学校等の園児、児童等30名(大人6名、園児、児童24名)
- (エ) 内容 動物の正しい触り方、心音測定等

(6) 講師派遣

主催者の依頼により講師等を派遣した。

ア 犬のしつけ方教室(主催 古賀市小竹区公民館)

(ア) 日時 8月5日(土) 19:40～20:00

(イ) 場所 古賀市小竹区グラウンド

(ウ) 受講者数 200名

イ 猫と幸せに暮らすための講座(主催 (公財)宗像ユリックス)

(ア) 日時 1月20日(土) 13:30～15:00

(イ) 場所 (公財)宗像ユリックス 第6会議室

(ウ) 受講者数 8組8名

(7) 譲受団体研修会

ア 開催日時 6月21日(水) 13:30～16:30

イ 参加団体 13団体18名

ウ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)

エ 対象 登録の譲受団体

オ 内容 人畜共通感染症発生状況にかかる対策とワンヘルスについて
(講師:公益社団法人福岡県獣医師会 倉重聖)、意見交換

(8) ボランティア研修会

ア 新規ボランティア研修会

(ア)開催状況 単位:名

月日(曜日)	受講者数	登録可	登録済
4月5日(水)	6	6	6
6月7日(水)	9	9	9
8月2日(水)	4	4	4
10月4日(水)	2	2	2
12月6日(水)	6	6	6
2月7日(水)	4	4	4
合計	31 (17)	31 (17)	31 (17)

(イ) 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)

(ウ) 時間 9:00～11:30

- (エ) 対象 センター事業を支援する意思のある方
- (オ) 内容 ボランティアに必要な事項等の指導
- (カ) 新規ボランティア登録者 31名

(参考) ボランティアの活動状況

ボランティア活動の動物愛護事業名	事業回数	参加人数 (延)	反省会及び 意見交換会
これから犬を飼う人のための講習会	21回	103名	21回
動物愛護フェスティバル	1回	10名	1回
犬のしつけ方教室	一般コース	10回	60名
	子犬コース	12回	73名
ワンパク同窓会	2回	16名	
動物愛護教室	2回	8名	
ボランティア・譲受団体研修会	1回	14名	1回
ボランティア研修会	1回	16名	
センターオープンデー	1回	10名	
日常のお世話（散歩、シャンプー、手入れ等）	38回	93名	
合 計	89回	403名	45回

イ ボランティア研修会

- (ア) 開催日時 3月14日（水）10:00～11:30
- (イ) 参加人数 16名
- (ウ) 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- (エ) 内容 平成29年度動物愛護事業報告、平成30年度動物愛護事業計画について

ウ ボランティア及び譲受団体研修会

- (ア) 開催日時 11月15日（水）13:30～16:10
- (イ) 参加人数 14団体23名
参加ボランティア 14名 その他関係者：5名
- (ウ) 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- (エ) 内容 講演「九州北部豪雨災害における行政とボランティアの連携について」
「九州北部豪雨災害における被災者とボランティアの関わりについて」

(9) 動物愛護に関する行政機関との連携事業

動物愛護事業について保健福祉（環境）事務所等と連携を図るため次の事業を行った。

ア 動物行政担当者研修会及び情報交換会

(ア) 研修会

- a 日時 7月4日（火）14：00～17：00
- b 場所 福岡県動物愛護センター
- c 参加者 14名

(イ) 情報交換会

- a 日時 1月17日（水）14：00～17：00
- b 場所 福岡県動物愛護センター
- c 参加者 14名

イ 愛護動物同行避難訓練

(ア) 福岡県総合防災訓練

- a 日時 5月28日（日）8：30～12：30
- b 場所 吉富漁港
- c 内容 飼い主及び飼い犬の同行訓練実施

(イ) 福岡県原子力防災訓練

- a 日時 9月4日（月）12：20～15：20
- b 場所 そびあしんぐう
- c 内容 「災害時の備えとしつけの必要性について」同行訓練参加住民に対し講話

(ウ) 被災ペット搬送及び受入れ訓練

- a 日時 10月12日（木）10：15～10：55
- b 場所 九州災害時動物救援センター
- c 内容 被災ペットと想定した犬のペット受入れ施設への搬送及び受入保管訓練

ウ 福岡県内動物愛護（管理）センター会議

- a 日時 1月26日（金）14：00～17：00
- b 場所 北九州市動物愛護センター
- c 参加者 10名

エ 動物愛護推進協議会に対する動物愛護事業の支援

(ア) 飼い主マナーアップキャンペーンイベント（推進協議会粕屋支部主催）

- (1回目) a 日時 6月20日（火）13：30～15：00
- b 場所 イオンモール福岡ルクル
- c 内容 犬猫の適正飼養推進の啓発

- (2回目) a 日時 11月21日(火) 13:30~15:00
 b 場所 イオンモール福岡ルクル
 c 内容 犬猫の適正飼養推進の啓発

オ 負傷動物の措置等研修

- a 日時 5月12日(金) 13:00~16:00
 b 場所 福岡県動物愛護センター
 c 参加者 6名

- a 日時 9月5日(火) 10:00~16:30
 b 場所 福岡県動物愛護センター
 c 参加者 5名

- a 日時 9月19日(火) 13:00~16:00
 b 場所 福岡県動物愛護センター
 c 参加者 2名

2 ペット相談事業

ペット等に関する相談を電話、センター窓口において受け付けた。

犬は譲受を希望する問い合わせ、猫は保護した猫の飼い主捜しが一番多い。

犬、猫ともに失踪に関する問い合わせに対し、鑑札、迷子札等の装着の必要性についてアドバイスしている。

また、猫に関しては、野良猫のエサやりや、不妊去勢手術の相談等が増えてきている。

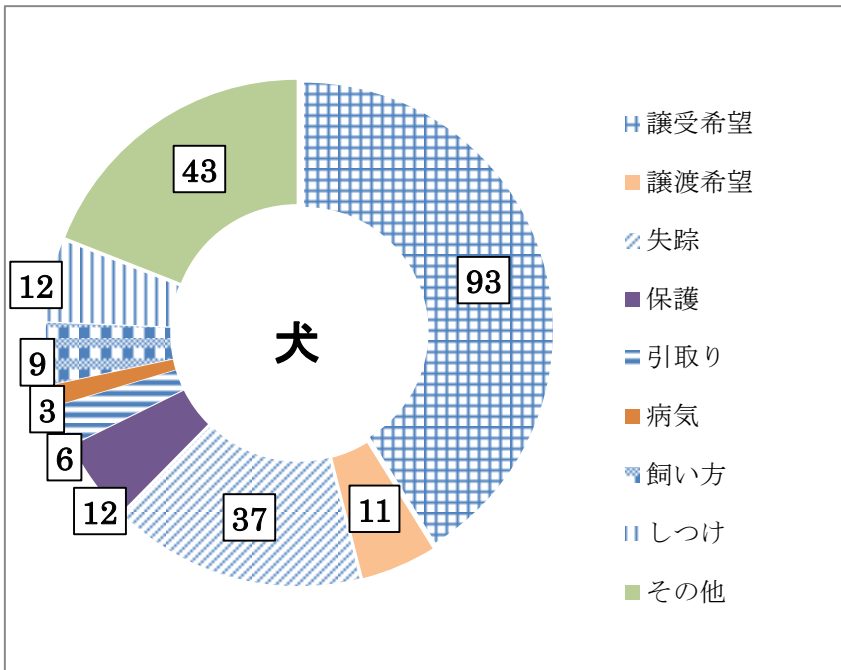
その他、ボランティアを希望する問い合わせが多く、新規ボランティア研修会の受講を案内している。

(1) 相談件数 453件 (犬226件、猫205件、その他22件)

(2) 相談内容 単位：件

相談内容	犬の件数	猫の件数
譲受希望	93	23
譲渡希望	11	24
失踪	37	32
保護	12	38
引取り	6	5
病気	3	2
飼い方	9	22
しつけ	12	0
その他	43	59

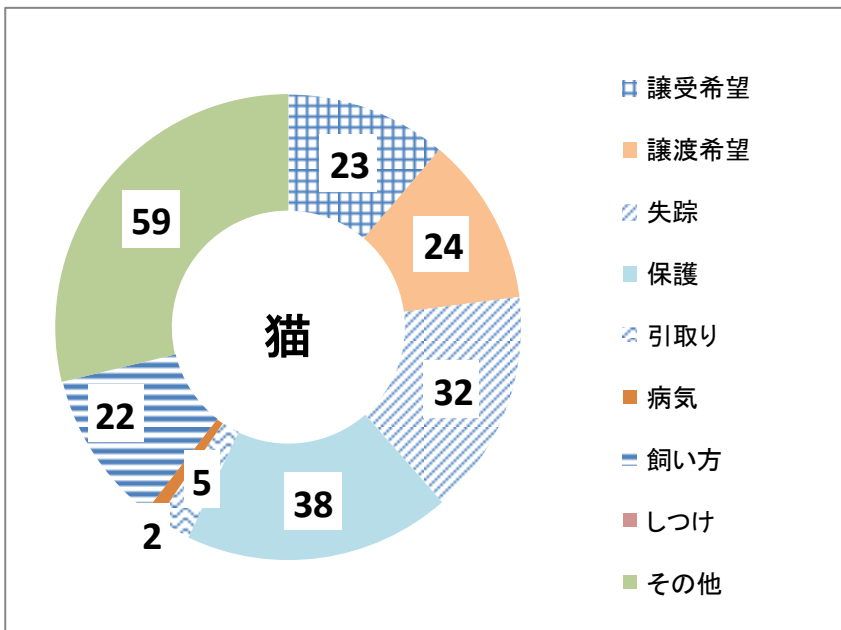
ア 犬の相談内容



○犬のその他の主な内容

- ・ 老犬介護
- ・ 老犬ホーム
- ・ HPの収容犬について
- ・ 一時預かって欲しい 等

イ 猫の相談内容



○猫のその他の主な内容

- ・ 猫のエサやりに関する苦情相談
- ・ 不妊去勢手術の助成
- ・ 猫の虐待について
- ・ 猫の死体処理について 等

ウ 犬及び猫以外の主な相談内容

- ・ ボランティア希望
- ・ 動物愛護団体に関する問い合わせ
- ・ 寄付に関する問い合わせ
- ・ 致死処分方法について
- ・ ペットショップ、ブリーダーに関することについて 等

3 調査研究事業

(1) 譲渡犬の飼養実態調査

ア 調査の概要

譲渡事業において、飼養希望者に譲渡した犬の飼養状況を把握し、今後の本事業の参考とするために、次のとおり追跡調査を実施した。

- (ア) 対象及び件数 平成28年度譲渡犬の飼養者38名 (♂17頭、♀21頭)
- (イ) 期 間 平成29年4月～平成30年3月
- (ウ) 方 法 封書によるアンケート各戸調査
- (エ) 内 容 「飼養状況アンケート」
- (オ) アンケート回収数(率) 38件(100% ♂17 ♀21)

イ 調査結果(単位：%)

① 現在の健康状態(N=38)

- 健康・・・35件(92.1%)
- 譲渡・・・1件(2.6%)
- 死亡・・・0件(0.0%)
- 失踪・・・0件(0.0%)
- 回答なし・・・2件(5.3%)

[現在の体重]

- ・ ～10.0kg・・・11頭(28.9%)
- ・ 10.1kg～15.0kg・・・20頭(52.6%)
- ・ 15.1kg～20.0kg・・・5頭(13.2%)
- ・ 20.1kg～25.0kg・・・1頭(2.6%)
- ・ 20.1kg～30.0kg・・・1頭(2.6%)

② 飼育の目的〔複数回答〕

[以降N=38 ♂17 ♀21]

- 番犬・・・11件(28.9%)
- 愛玩用・・・4件(10.5%)
- 子供の教育用・・・2件(5.3%)
- 家族として・・・31件(81.6%)
- その他・・・2件(5.3%)

③ 飼育場所〔複数回答〕

- 家の中で・・・24件(63.2%)
- 囲いの中で・・・4件(10.5%)
- 庭で放し飼い・・・6件(15.8%)
- クサリで繋留・・・16件(42.1%)

④ 狂犬病予防法に基づく登録・注射は

- 受けている・・・38件(100.0%)
- 受けていない・・・0件(0.0%)

⑤ 主に犬の世話をする人は [複数回答]

- 夫・・・・・・・・ 13件 (34.2%)
- 妻・・・・・・・・ 19件 (50.0%)
- 子供・・・・・・・・ 8件 (21.1%)
- その他・・・・ 2件 (5.3%) (その他2件のうち1件は、「母」)

⑥ 犬の運動は [複数回答]

- 特にさせていない・・・・ 3件 (7.9%)
- 庭で追い放し・・・・・・・・ 3件 (7.9%)
- 引き綱で運動・・・・・・・・ 33件 (86.8%)
- ドッグラン・・・・・・・・ 0件 (0.0%)
- その他・・・・・・・・ 3件 (7.9%)
- 無回答・・・・・・・・ 1件 (2.6%)

⑦ 食事の内容は [複数回答]

- ドッグフード・・・・・・・・ 37件 (97.4%)
- 家族のものと同じ・・・・ 2件 (5.3%)
- その他・・・・・・・・ 12件 (31.6%)

[主な内容]・野菜・ササミ・茹でた肉等

⑧ 飼育していて困ったこと、現在困っていること

- ある・・・・・・・・ 18件 (47.4%)

[主な内容]

- ・ アマガミ・物を噛む・・・・・・・・ 6件

以下各2件

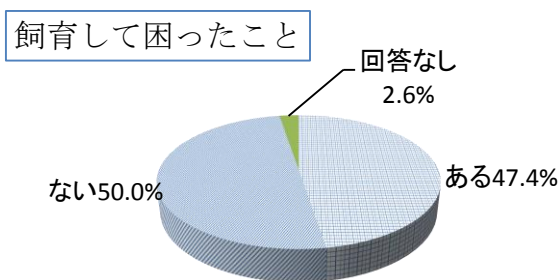
- ・ 拾い食い、食糞
- ・ 男の人に怯える
- ・ 車に乗りたがらない、車が苦手。

以下各1件

- ・ 家に入りたがらない、おいでをしても近寄ってこない
- ・ 雨の日に外に出たがらない
- ・ 散歩中、猫や他の犬の臭いに夢中になる
- ・ 主人に吠える、引く力が強い

- ない・・・・・・・・ 19件 (50.0%)

- 回答なし・・・・・・・・ 1件 (2.6%)



⑨ 不妊・去勢手術について

- センターにて手術済み・・・23件（60.5%）
 【性別による内訳 ♂13件 ♀10件】
- 受けた・・・・・・・・・・12件（31.6%）
 【性別による内訳 ♂2件 ♀10件】
- 受けたい・・・・・・・・・・2件（ 5.3%）
 【性別による内訳 ♂1件 ♀1件】
- 受けたくない・・・・・・・・1件（ 2.6%） （理由：麻酔、手術のリスク）
 【性別による内訳 ♂1件 ♀0件】

⑩ 動物病院での受診経験は

- ある・・・・・・・・・・35件（92.1%）
 【主な内容】【複数回答】
- ・狂犬病注射（10件） ・混合ワクチン接種（16件） ・フィラリア予防（16件）
 - ・ノミダニ（8件） ・健康診断、相談（5件） ・結膜炎治療（1件）
 - ・足部皮膚のキズ治療（1件） ・左耳の腫瘍切除（1件）
 - ・耳の不調、食物アレルギー治療（1件）
- ない・・・・・・・・・・2件（5.3%）
- 回答なし・・・・・・・・・・1件（2.6%）

⑪ 今回犬を飼っての感想は【複数回答】

- よかった・・・・・・・・・・37件（97.4%）
 【主な理由】
- ・家族の会話が増えた・・・・・・・・11件
 - ・癒される・・・・・・・・・・8件
 - ・家族が増えた感じ・・・・・・・・5件
 - ・家庭が明るくなった・・・・・・・・5件
 - ・自分が健康・元気になった・・・・・・・・4件
 - ・とてもかわいい・・・・・・・・4件
 - ・孫のためになった・・・・・・・・3件
 - ・番犬として満足・・・・・・・・2件
 - ・家庭が穏やかになった・・・・・・・・2件
 - ・犬との生活は楽しい・・・・・・・・1件

- 悪かった・・・・・・・・・・1件（2.6%）
 【理由】・先住犬との相性
- その他・・・・・・・・・・2件（5.3%）
 【理由】・慣れるのに時間がかかった。 ・留守中の心配。

⑫ お宅の犬はしつけが良い方だと思いますか。

- 思 う・・・・・・・・・・20件（52.6%）
- 思わない・・・・・・・・・・7件（18.4%）
- わからない・・・・・・・・・・9件（23.7%）
- 回答なし・・・・・・・・・・2件（ 5.3%）

⑬ センターで行っている「しつけ方教室」について

- 参加した・・・・・・・・・・ 20件（52.6%）
- 参加したい・・・・・・・・・・ 9件（23.7%）
- 参加できない・・・・・・・・・・ 5件（13.2%）
- 参加したくない・・・・・・・・ 0件（0.0%）
- 知らなかった・・・・・・・・ 0件（0.0%）
- 回答なし・・・・・・・・・・ 4件（10.5%）

⑭ 処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができること

- ・健康管理。クサリを外さない事。愛情を持つ事。
- ・不妊去勢手術をする。
- ・ペットの一生を責任を持って見守る事
- ・農家のような所なら、犬猫多数飼育することは可能。猫を4匹飼育しているが、不妊去勢手術をしてから、家の内外自由にしている、まだ何匹でも余裕がある。
- ・捨て犬・捨て猫情報を今以上に発信。動物愛護運動のPR充実。
- ・SNS等で、譲渡会等をシェアで拡散したり、我が家の犬について近況を投稿したりして、情報をいろんな方と共有したりしています。
- ・責任を持ってないのであれば、飼わない。子犬を産んで飼うことが出来ないのであれば、不妊去勢手術をする。
- ・迷子子 犬：迷子札・首輪を2つ付ける。 猫：完全室内飼育+迷子札・首輪2個。 犬や猫を飼う方法として、ペットショップやブリーダーから買う以外の方法もあるという事を周りに知ってもらおう。
- ・飼う前にキチンと知ることが大切かなと思います。「かわいい」だけではいけない。
- ・センターで家族に出会えたことを伝えること
- ・生涯飼育が基本だと思います。それからマイクロチップを入れ、迷子札を付ける。
- ・最期まで、家族の一員として責任を持つようにしたいです。
- ・「これから犬を飼う人の為の講習会」を受講してもらいたい。犬・猫を飼うとは、どういうことか今一度考えてもらいたい。ペットショップで安易に可愛い・可愛いと飼わないでもらいたい。
- ・愛護センターのホームページを見る人が増えれば、処分は減ると思う。
- ・高齢になったら、継続して飼育してもらえる人（後見人）を決めておくことが必要だと思う。
- ・ペットショップなどで、安易な一時的な気持ちで命を買うようなことがなくなってほしいです。飼い続けることが出来るか、環境が整っているのか、売る側も商売だけでなく「命の重み」を説き、飼う側も責任を持ち、不幸な動物が増えないことを切に願います。
- ・メス犬には、キチンと不妊手術をしてやるべきだと思います。
- ・飼養者なら当たり前のことですが、望まない妊娠や出産をしないこと。迎え入れたなら最期まで深い愛情を持って共に生きること。確かにお金は掛かりますが、それ以上のものを「もみじ」は私達に与えてくれています。
- ・予定なく、子共を増やさない、捨てない、逃がさない。
- ・飼う人が最期まで責任を持つべきだと思います。

⑮ センターへの意見・要望

- ・譲渡して頂いたときの細やかな対応に「何か困ったこと、不安なことがあれば、センターに連絡すればいい」という気持ちがあり、とても心強いです。今後も何かありましたら、よろしくをお願いします。
- ・皆様の御苦勞を知り、感謝するのみです。
- ・各テレビ局で、猫島『相島』が取り上げられているからか、多数の人が知るようになった。PRを様々な形で実行してみたらと思う。
- ・譲渡ありがとうございました。
- ・「ギータ」をありがとうございました。大切な家族の一員です。
- ・息子が読書感想文で、ベイブのことを書いていましたので、よかったら読んでください。
- ・しつけ教室や同窓会など参加させていただき、ありがとうございます。またドッグランにも行きたいと思いますので、アドバイスよろしくお願いします。
- ・しつけ教室でのご指導ありがとうございました。これからも、更に信頼関係を深めていきたいと思ひます。また、ご相談させてください。
- ・一匹でも多くの、犬や猫が新しい家族に出会えることを祈っています。
- ・出光動物病院の先生の紹介がなければ知りませんでした。
- ・近所のしつけ方教室などの情報が知りたい。ドッグランやペット保険などのことも知りたい。
- ・お世話になり、ありがとうございました。
- ・最近、参加が叶いませんが、今後もボラティアに積極的に参加したいです。
- ・時々（1年に1回）このような事（アンケート？）を聞く事は良いと思ひます。
- ・毎日、お疲れ様です。時々ホームページを見させて頂いています。その度に、「この犬達にも、早く良い飼い主さんが見つければいいなと思わずにいられません。殺処分0（ゼロ）になることを、本当に願っています。
- ・「ひかる」くんは、しつけがとても良く出来ていて、家の中で飼っていると悪い事は何一つしません。感謝の気持ちで一杯です。
- ・ありがとうございました。マメちゃんに会えて幸せです。
- ・感謝しています。

ウ まとめ

- (ア) アンケートの回収率は100%で、譲渡後の状況を知る上でアンケート調査は有効な手段であることから、今後も譲渡時の説明し、回収率100%に努めたい。
- (イ) 1年後の体重は、15kg以下が81.6%で概ね予想された範囲内であり、体重（大きさ）を困った点に挙げる回答者はいなかった。健康状態も含め将来的な予測が困難であることは、今後とも適切に説明していく必要がある。
- (ウ) 譲渡の4条件（畜犬登録・狂犬病予防注射接種、適正飼養・終生飼養、不妊・去勢手術、飼養可住宅）のうち、畜犬登録及び狂犬病予防注射は100%、不妊去勢手術は92.1%の方が「済み」と回答しており、事前講習会の効果が現れていると思われる。
- (エ) 飼育していて困ったこと、現在困っていることについては、「ある」と回答された方が47.4%あり、その主な内容は、「アマガミ」、「物を嘔む」等であった。いずれもしつけで改善が見込めるものと思われることから、センターが開催する

「しつけ方教室」の参加や個別指導の他、利便性を考慮した「しつけ方教室」の開催方法の検討（市町村等の主催による開催を含む）が必要と思われる。

- (ハ) 飼い始めた感想については、97.4%の方が「良かった」と回答しており、その主な理由として「家族の会話が増えた」、「癒される」、「家族が増えた感じ」、「家庭が明るくなった」、「自分が健康・元気になった」、「とてもかわいい」等を挙げている。一方、「悪かった」との回答も1件（3.7%）あり、その理由は「先住犬との相性」を挙げている。
- (カ) 「しつけ」については、52.6%の方が「良い方だと思う」としている一方で、18.4%の方が「思わない」としており、しつけ方教室の受講をさらに促す必要がある。
- (キ) センターで行っている「犬のしつけ方教室」への参加については、「参加した」52.6%、「参加したい」23.7%と回答していることから、しつけ方教室等を継続的に実施することで、モデル的な飼い主の育成・組織化、さらに愛護事業へのボランティア参加等が期待できるものと思われる。
- (ク) 質の高い譲渡事業を目指すため、平成14年度から事前講習会制度を導入した。導入当初は、「譲渡適否の審査が厳しい」との指摘もあったが、現在では、他の自治体や愛護団体が実施する譲渡事業も同様な審査を行うようになってきており、「厳しい」との指摘は少なくなっている。
- (ケ) センターへの意見・要望については、譲渡していただいたときの細やかな対応に、心強さを覚えました、今後もよろしく願います（1件）、PRを様々な形で実行してみたらと思う（1件）、譲渡への感謝（2件）、ドッグランに行きたいのでアドバイスをよろしく（1件）、しつけ教室でのご指導ありがとうございます（1件）、一匹でも多くの犬や猫に飼い主が見つかることを祈ります（2件）等がありました。
- (コ) 処分される犬や猫を減らすために、生涯飼育を行うこと（6件）、不妊去勢手術を受けさせること（3件）、責任を持たないなら飼わない、可愛いだけで安易に飼わない（2件）、捨て犬や捨て猫情報を今以上に発信、動物愛護運動のPR充実（1件）等の意見がありました。

エ 総括

調査結果については、センターだけではなく他団体が愛護事業を企画及び実施する際の資料としても活用できるよう、「事業概要」等で公表するほか、各種研修会においても説明を行う予定である。

なお、本アンケート調査は、平成16年度の譲渡者から実施しており、対象者は少ないものの回収率は比較的高く、譲渡事業の評価に有効な手法と思われる。

(2) 猫の適正飼養に関する調査

ア 調査の概要

動物愛護週間事業の一環として行われている「2017動物愛護フェスティバルふくおか」において、今後の猫の適正飼養の普及啓発事業の参考とするために、次のとおり「猫に関するアンケート調査」を実施したので報告する。

- (ア) 対象及び件数 当該フェスティバル時に、センター設置の動物愛護事業啓発

ブースに来場された方。回答件数95件。

猫を飼育している人からの回答	16件 (16.8%)
猫を飼育していない人からの回答	79件 (83.2%)

- (イ) 調査日時 平成29年10月8日(日) 10:00~15:00
「2017動物愛護フェスティバルふくおか」開催時
- (ウ) 調査場所 だざいふ遊園地(太宰府市)
- (エ) 調査方法 猫を飼育している、猫を飼育していないかを確認の上、それぞれ別のアンケート調査用紙を配付し記入を依頼
- (オ) 調査内容 「猫の適正飼養に関するアンケート」

イ 調査結果

(ア) 猫を飼育している人について

① 飼育頭数

- ♂のみ1頭飼育 4名 (25.0%)
- ♀のみ1頭飼育 8名 (50.0%)
- ♂♀両方飼育 4名 (25.0%)

② 完全室内飼育を知っているか?

- 知っている 14名 (87.5%)
- 知らない 2名 (12.5%)

③ 飼育場所

- 完全室内飼育 14名 (87.5%)
- 外との出入り自由 2名 (12.5%)
- 完全外飼育 0名 (0.0%)

④ ケージを使用しているか?

- 使用している 11名 (68.8%)
- 使用していない 5名 (31.3%)

⑤ 排泄場所

- 庭等の自己所有土地 3名 (18.8%)
- 室内の猫用トイレ 13名 (81.3%)

⑥ 不妊去勢手術の有無

- している 13名 (81.3%)
- していない 3名 (18.8%)

⑥-1 不妊手術と去勢手術の割合

- ♂の飼育者 4名中2名 (50.0%)
- ♀の飼育者 8名中7名 (87.5%)
- ♂♀両方飼育 4名中4名 (100.0%)

⑦ 所有者明示

- している 1名 (6.3%)
- 何もしていない 15名 (93.8%)
- 不明 0名 (0.0%)

⑧ 災害時の同行避難の準備

- している 5名 (31.3%)
- していない 11名 (68.8%)

⑧-1 準備していること

- ・数日分のエサ、水、キャリー、ペットシート等を用意している 2名

⑨ 野良猫にエサだけを与えることについて

- 賛成 4名 (25.0%)
- 反対 9名 (56.3%)
- わからない 3名 (18.8%)

⑩ 処分を減らすために

- ・不妊去勢手術をする 5名 (31.3%)
- ・野良猫でも拾う 3名 (18.8%)
- ・里親が増えるとよい 2名 (12.5%)
- ・捨てたりしない 2名 (12.5%)
- ・無駄な繁殖はしない 1名 (6.3%)
- ・飼う人の気持ちの持ち方 1名 (6.3%)

(イ) 猫を飼育していない人について

① 猫が好きか嫌いか

- 好き 51名 (64.6%)
- 嫌い 10名 (12.7%)
- どちらでもない 18名 (22.8%)

② 完全室内飼育

<全体 (79名) >

- 賛成 38名 (48.1%)
- 反対 18名 (22.8%)
- どちらでもない 23名 (29.1%)

<猫が好きな人 (51名) >

- 賛成 28名 (54.9%)
- 反対 7名 (13.7%)
- どちらでもない 16名 (31.4%)

<猫が嫌いな人 (10名) >

- 賛成 2名 (20.0%)
- 反対 8名 (80.0%)
- どちらでもない 0名 (0.0%)

<どちらでもない人 (18名) >

- 賛成 6名 (33.3%)
- 反対 6名 (33.3%)
- どちらでもない 6名 (33.3%)

②-1 賛成の理由

- ・屋外は交通事故が心配だから
- ・病気の心配がない

- ・他の家に入っていくから
- ・外でケンカをしないから
- ・野良猫になったり迷子になったりしないから

②-2 反対の理由

- ・ずっと家の中だと猫が退屈だから
- ・家の中だけはかわいそう
- ・散歩させないといけないから
- ・自由に生きてほしいから

②-3 どちらでもない理由

- ・室内飼い、屋外飼育それぞれメリットがあるから
- ・飼い主個人の自由のため

③ 野良猫にエサだけ与えることについて

<全体（79名）>

- 賛成 7名（8.9%）
- 反対 56名（70.9%）
- どちらでもない 16名（20.3%）

<猫が好きな人（51名）>

- 賛成 5名（9.8%）
- 反対 32名（62.7%）
- どちらでもない 14名（27.5%）

<猫が嫌いな人（10名）>

- 賛成 2名（20.0%）
- 反対 8名（80.0%）
- どちらでもない 0名（0.0%）

<どちらでもない人（18名）>

- 賛成 0名（0.0%）
- 反対 16名（88.9%）
- どちらでもない 2名（11.1%）

③-1 賛成の理由

- ・野良猫も自由に生きてほしい。

③-2 反対の理由

- ・これ以上野良猫が増えてほしくない
- ・なついて住みついてしまう。
- ・フンをして不潔、近隣に迷惑をかける。

③-3 どちらでもない理由

- ・その場の状況がよくわからない。

④ 困っていること

- ある 24名（30.4%）
- ない 55名（69.6%）

④-1 困っていること（複数回答可）

- 敷地内への排便 4名

- 敷地内への侵入 10名
- 鳴き声 21名
- 車上への爪かき 5名

④-2 困っている猫（複数回答可）

- 飼い猫 9名（37.5%）
- 野良猫 12名（50.0%）
- わからない 6名（25.0%）

⑤ 処分を減らすために

- ・猫を捨てない 7名
- ・不妊去勢手術をする 30名
- ・責任を持って飼う 15名
- ・野良猫でも拾って飼う 2名
- ・広報活動（ネットなど）をもっと行う 5名
- ・衝動的に飼わない 1名

ウ まとめ

- (ア) 猫を飼育している人で♂を1頭のみ飼育している人は4名いた。♀を1頭のみ飼育している人は8名いた。♂♀両方を飼育している人は4名おり、複数等飼う場合も、性別に関係なく飼育していた。
- (イ) 猫を飼育している16名中、完全室内飼育は14名、外との出入り自由と完全外飼育が2名であり、完全室内飼育が周知されていると思われる。
- (ウ) 不妊去勢手術については、飼育している16名中、13名が実施していた。
- (エ) 所有者明示していない人が15名（93.8%）いた。交通事故による死亡も含め、家に帰れない飼い猫の数が多いことを考慮すると、迷子札及びマイクロチップを装着する等の必要性についてさらに啓発していく必要がある。
- (オ) 災害時における同行避難に関する設問に対しては、16名中5名（31.3%）の飼い主しか対策を講じていないため、さらにその必要性について啓発していく必要がある。
- (カ) アンケート調査者（計95名）のうち猫を飼育していない人79名中、猫が好きと答えた人は51名（64.6%）、嫌いと答えた人は10名（12.7%）、どちらでもない人は18名（22.8%）であった。
- (キ) 完全室内飼育について、猫を飼育していない人79名のうち38名（48.1%）が賛成と答え、猫が好きと答えた人51名中28名（54.9%）が賛成であった。賛成の理由は、屋外は交通事故が心配だから、病気の心配がない、他の家に入っていくから等があった。また、反対と答えた人は19名で、その理由は、ずっと家の中だと猫が退屈だから、家の中だけではかわいそう等であった。従って、今後、これから猫を飼う人、猫を飼い始めた人等を対象とした講習会を実施し、近隣からの苦情を防ぐことや、猫の安全を守るための具体的な飼育方法を示して、完全室内飼育の必要性を啓発していくことが重要である。
- (ク) 野良猫にエサだけを与えることについて、猫を飼育している人16名中9名（56.3%）が反対と答え、飼育していない人79名中56名（70.9%）

も反対と答えており、全体（95名）でも65名（68.4%）の人が否定的であった。このことから、猫へのエサやりは受け入れられていないということを考慮して、地域猫活動を進めていく上で、野良猫へのエサやり等について、地元の理解を得ることが重要である。

- (ケ) 猫を飼育していない人79名中、猫のことで困っていることがあると答えた人は24名（30.4%）で、困っていることは敷地内への排便4名及び侵入10名で敷地内に関することが多かった。困っている猫は、飼い猫が9名（37.5%）、野良猫が12名（50.0%）であったことから、野良猫についての地域猫活動等の対策とともに飼い主に対する適正飼養の啓発も必要と思われる。
- (コ) 猫の殺処分頭数を減らすためにはどうしたらよいかということについては、アンケート調査者95名のうち35名（36.8%）の人が不妊去勢手術が必要だと答えており、認知度からいえば十分ではないと思われるため、さらに不妊去勢手術の必要性について啓発していくことが重要である。
- (ク) 猫を飼育していない人79名中、処分を減らすために責任を持って飼うと回答した人は15名（19.0%）、猫を捨てないと回答した人は7名（8.9%）で、さらに適正飼養に関する啓発が必要である。

エ 総括

猫を飼っていない人及び苦手な人も含めて、人と猫が共生できる社会の実現を目指すため、次の取組みを実施することが重要である。

- (ア) 動物と人との共生を図っていくためには、猫の感染症予防、交通事故防止等とはもとより、敷地への侵入や糞尿等による生活環境の悪化を防止することが大切であり、完全室内飼育の必要性を柱とする適正飼養に関する講習会を開催する等の普及啓発活動を実施することが肝要である。
- (イ) 猫にストレスをかけることなく完全室内飼育をするためには、猫のニーズに適した飼養環境を整備し、不妊去勢手術を実施することが重要である。そのため講習会等で完全室内飼育の必要性について啓発する場合は、猫の習性を説明し、上下運動が出来る場所の確保や、安全で安心して隠れる場所が必要である等、完全室内飼育をするために必要な具体的な方法示すことが重要である。
- (ウ) 現在、野良猫の対策として実施されている地域猫活動を支援するためにも、不妊去勢手術の必要性や、飼い猫の完全室内飼育を柱とする適正飼養を周知する取組みが必要である。

4 動物愛護・管理支援事業

(1) 動物の収集及び管理に関する事業

ア 収集、譲渡及び致死処分状況

単位：頭

区 分		犬	猫	その他	計
①前年度からの繰り越し		8	4	0	12
収 集	②保健福祉（環境）事務所等からの捕獲犬及び引取犬・猫	513	1,190	0	1,703
	③保健福祉（環境）事務所からの負傷動物	16	305	0	321
	④ 収集計（②+③）	529	1,495	0	2,024
譲 渡	⑤ センター譲渡	36	62	0	98
	⑥ 譲受団体譲渡	180	111	0	291
	⑦ 譲渡計（⑤+⑥）	216	173	0	389
⑧ 致死処分計（①+④-⑦-⑨）		315	1,322	0	1,637
⑨ 翌年度への繰越		6	4	0	10

イ 致死処分方法の検討

本年度、炭酸ガスによる致死処分以外の方法を検討するため、一部の犬猫に対して致死量の麻酔薬投与による致死処分を実施した。

○犬 3頭（成犬3頭）

○猫 21頭（子猫21頭）

(2) 犬及び猫の譲渡事業

致死処分数の減少を図るとともに、地域における模範的飼養者の育成及び適正飼養の普及啓発を図るため、センターにおいて保管・管理している、健康で家庭動物として適正のある犬及び猫について、譲渡を行った。

ア 譲受希望者への犬の譲渡（センター譲渡）

犬の譲受希望者に対しては、事前講習会の受講を義務づけるとともに、譲受希望者には面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。

また、譲渡犬については6種感染症ワクチン等を接種するとともに、内外部寄生虫駆除を行っている。

(ア) 「これから犬を飼う人のための講習会」(事前講習会)

センターから犬の譲渡を希望される方に対し、講習及び面談を実施した。

a 講 習 「あなたは本当に犬が飼えますか?」、「犬を迎える準備」

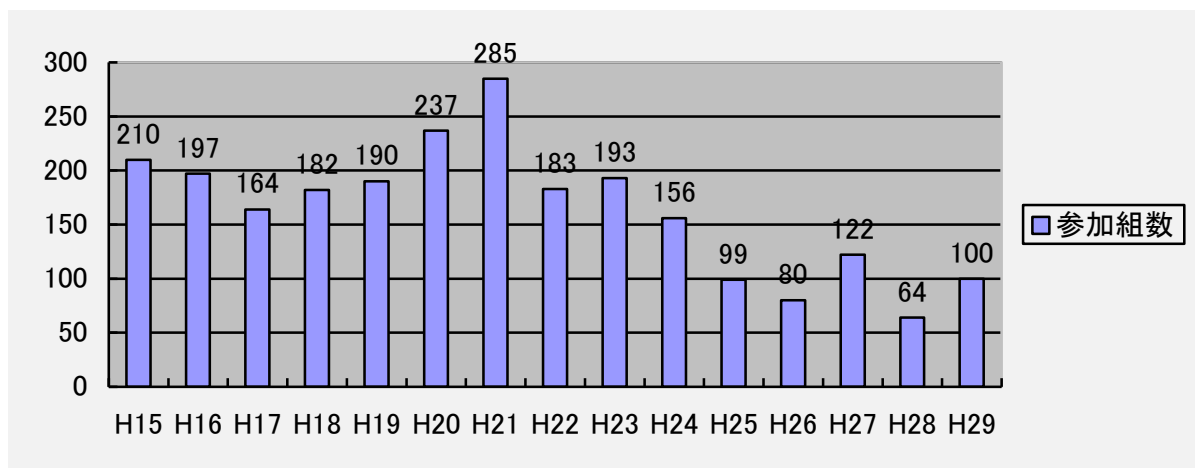
b 面 談 犬の飼養環境調査表(譲受希望者記入)等に基づく聴取。

c 開催状況

月日(曜日)	受講者数	組数	見学者数	備 考
4月 5日(水)	7名	4組		
4月16日(日)	11名	5組		
5月10日(水)	4名	3組		
6月 7日(水)	11名	8組		
6月18日(日)	6名	4組	1名	
7月 5日(水)	3名	2組		
7月16日(日)	14名	7組		
8月 2日(水)	7名	2組		
8月20日(日)	14名	5組		
9月 6日(水)	1名	1組		
9月17日(日)	台風接近により中止			
10月 4日(水)	13名	9組		
10月15日(日)	7名	4組		
11月 1日(水)	5名	4組		
11月19日(日)	14名	5組	3名	
12月 6日(水)	10名	7組	3名	
12月17日(日)	11名	6組		
1月21日(日)	14名	8組		
2月 7日(水)	4名	2組		
2月18日(日)	7名	4組		
3月 7日(水)	3名	2組		
3月18日(日)	15名	8組		
合 計	181名	100組	7名	

※事前講習会の定員は20名(事前申込み制)、開催時間は水曜日は13時30分から16時、日曜日は9時30分から12時。

(イ) 事前講習会参加組数の推移



(ウ) 事前講習会での面談結果及び譲渡状況

- ・事前講習会での面談組数は、受講者組数100組のうち93組であった。
- ・面談の結果、譲渡可は21組、条件付譲渡可は64組、譲渡不可8組だった。

(エ) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 電話によるフォローアップ（譲渡10日後）
- 家庭訪問（譲渡4カ月後）
- 郵送によるアンケート調査（譲渡1年後）

イ 譲受希望者への猫の譲渡（センター譲渡）

譲受希望者には随時の個別面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。

また、譲渡猫については3種感染症ワクチンを接種するとともに、内外部寄生虫駆除を行っている。

(ア) 個別面談数

75組

(イ) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 郵送によるアンケート調査（譲渡2ヶ月後）

ウ 犬及び猫の譲渡状況（センター譲渡）

単位：頭

犬		猫		合計
成犬	子犬	成猫	子猫	
22	14	22	40	98

エ 市町村別譲渡頭数（成犬・子犬・猫）

単位：頭

事務所名	市町村名	成犬	子犬	猫	事務所名	市町村名	成犬	子犬	猫	
筑紫 保健福祉環境事務所	筑紫野市	1	1		北筑後 保健福祉環境事務所	朝倉市				
	春日市			2		小郡市				
	大野城市	1		2		うきは市				
	太宰府市	2	1	1		筑前町				
	那珂川町			2		大刀洗町				
粕屋 保健福祉事務所	古賀市			7	南筑後 保健福祉環境事務所	東峰村				
	宇美町		1	1		柳川市				
	篠栗町					みやま市				
	志免町	1				八女市	1			
	須恵町		2	1		筑後市				
	新宮町	2	1	1		大川市				
	粕屋町					大木町				
久山町				広川町						
糸島保健福祉事務所	糸島市		1	5	京築 保健福祉環境事務所	行橋市				
宗像・遠賀 保健福祉環境事務所	宗像市	2	1	2		豊前市				
	福津市		1	9		みやこ町				
	中間市			2		苅田町				
	芦屋町					吉富町				
	水巻町					築上町				
	岡垣町		2	2		上毛町				
遠賀町		1		北九州市 動物愛護センター	北九州市					
嘉穂・鞍手 保健福祉環境事務所	飯塚市	1			6	福岡市 動物愛護管理センター	東区		1	8
	嘉麻市						博多区			1
	桂川町						中央区		1	
	直方市				5		南区		1	1
	宮若市	1	1				城南区			1
	鞍手町						早良区		1	
小竹町		1		西区	1		2	2		
田川 保健福祉事務所	田川市		2		大牟田市 動物管理センター	大牟田市				
	香春町					久留米市 動物管理センター	久留米市	1		
	添田町				平成29年度譲渡数		成犬		子犬	猫
	糸田町						14	22	62	
	川崎町									
	大任町									
	福智町			1						
赤村										

エ 譲受団体への譲渡

センターの登録基準を満たした団体に対し、当該団体が希望する犬猫を譲渡した。

※登録基準：福岡県犬及びねこの団体譲渡に係る要領（平成22年5月26日施行）

(7) 登録譲受団体数

25団体（平成30年3月31日現在）

(1) 犬及び猫の譲渡状況

単位：頭

犬		猫		合計
成犬	子犬	成猫	子猫	
157	23	61	50	291

(3) 譲渡動物への不妊去勢手術

生後4カ月齢以上の譲渡動物を対象に実施した。

ア 不妊去勢手術の実施状況

単位：頭

	メス	オス	合計
犬	5	15	20
猫	12	19	31
合計	17	34	51

(4) 福岡県獣医師会の支援診療

県獣医師会支援事業により、1回の支援診療を受けた。

(5) マイクロチップの装着（譲渡動物を対象）

犬37頭、猫30頭に装着。

(6) 施設の保守及び管理業務

建物・施設、財産の適正な維持管理に必要な業務を行った。

5 動物愛護週間事業等

動物愛護週間は「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、広く国民の間に、命あるものである動物の愛護と適正飼養について関心と理解を深めるために設けられたもので、センターでは次の事業を行った。

(1) 動物慰霊祭及び講演会

- ・開催日及び場所 10月18日(水)、福岡県動物愛護センター(古賀市)

ア 動物慰霊祭

- ・参列者 97名

イ 動物愛護講演会

- ・演題 「九州北部豪雨被災地におけるペット救援活動について」
講師：永田祥代 福岡県北筑後保健福祉環境事務所 保健衛生係長
- ・参加者 87名

(2) 2017動物愛護フェスティバルふくおか

- ・開催日及び場所 10月8日(日) だざいふ遊園地(太宰府市)

(3) 街頭キャンペーン等への参加

街頭キャンペーン(粕屋保健福祉事務所と合同で実施)

- ・日時 6月20日(火) 13:30~15:00
11月21日(火) 13:30~15:00
- ・場所 イオンモール福岡